

## 市有施設包括管理業務委託 第2期（2023年度（令和5年度）～）の実施について

本市では、市有施設の安全性の向上と維持管理業務の効率化のため、従来、施設ごと、業務ごとに委託していた保守点検や清掃、修繕等を一括して委託する市有施設包括管理業務委託を導入しています。第1期は学校・幼稚園・保育所等を対象に2018年度（平成30年度）から開始し、対象施設は1年目の132施設から、最終年度の2022年度（令和4年度）には167施設まで拡大しています。

包括管理の導入により施設満足度の向上、コスト削減等の成果が上がっていることから、対象をさらに拡大（本庁舎等を追加）して第2期の受託者の選定を公募により進めてまいります。

### 1 第1期の実績と成果

#### (1) 対象施設・対象業務の推移

年度	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)
施設数	132	158	152	166	167
業務数	629	818	817	866	865
主な追加施設・業務		消防局7施設 明石商業高校 機械警備業務 18施設の12条点検	明石こどもセンター あさぎり福祉センター 施設保全・マネジメントシステム	駅自由通路7施設 消防局業務拡大	茶園場倉庫
当初契約額	3.10億円	3.52億円	3.88億円	4.13億円	4.18億円
予算額	3.71億円	4.18億円	4.67億円	4.98億円	5.47億円

※当初契約額と予算額の差額は、修繕精算及び各施設配当のための予算等

#### (2) 施設への満足度調査の結果

- 各施設へのアンケート結果 包括前と比べて「良くなった」「少し良くなった」の評価  
1年目：約7割 ⇒ 2年目：約8割 ⇒ 3年目：約9割 ⇒ 4年目：約9割
- 高評価の主な理由  
対応の迅速化（連絡の翌日までには現場確認、受託者常駐担当者自身による修繕等）  
従来未対応の修繕にも対応（学校体育館・保育室等の床研磨・張替、学校運動場等の排水改善、漏水箇所の特定・修繕、門・扉・窓の開閉不良の改善等）

#### (3) コスト削減効果

施設所管課職員7名減（他課への異動）等により人件費を中心に4,800万円／年の削減

#### (4) 他自治体等からの視察等

- 全国初の全ての日常修繕を含む包括管理として注目され、視察、講演、寄稿の依頼、問合せ合計100件以上
- 本市の事例を参考に神戸市、芦屋市、高砂市、大阪市、豊中市等、約10自治体が導入

## 2 第2期の概要（2023年度～2027年度の5年間）

### (1) 対象施設、対象業務の追加（主なもの）

- ・本庁舎、あかし保健所を対象施設として追加
- ・修繕業務の範囲を概ね130万円未満から500万円未満まで拡大
- ・公共施設マネジメントに資する提案事業の推奨

### (2) 予算額（令和5年度）

対象施設、対象業務の令和4年度予算の範囲内での実施を基本とする。

ただし、令和5年度の予算編成を通じて、以下の内容を追加する場合がある。

- ・対象施設の所管課から包括管理業務への追加依頼のあった維持管理業務
- ・対象施設に個別に予算措置された修繕業務

【対象業務の令和4年度予算】

（単位：千円）

項目	R4 予算
現行包括管理業務	547,375
追加予定業務分	
本庁舎の管理経費（包括化部分）	103,270
保健所の管理経費（包括化部分）	66,850
学校管理課の産業廃棄物収集運搬処分業務	12,700
合計	730,195

### (3) 効果

- ・本庁舎、保健所を含めた一段の事務効率化により、更に1名程度の人員減が見込まれる。

### (4) 受託者選定方法

- ・第1期と同様、公募型プロポーザルによる選定

## 3 スケジュール

2021年11月	サウンディング調査（8者が参加）
2022年6月	議会報告（第1期の実績と効果、第2期の概要）
2022年7月上旬	公募型プロポーザル公告
2022年8月下旬	優先交渉権者決定
2022年9月	議会報告（プロポーザル選定結果）
2022年10月～	事業開始に向けた協議・準備
2023年4月～	施設包括管理業務委託（第2期）開始